

マイナビ ツール・ド・九州2025×Locus(ローカス)プログラムの成果報告について



■プログラム概要／マイナビLocus(ローカス)

※ローカス…意味は「起点」、地域(ローカル)にフォーカスするという意味

- ・目的 福岡県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県の高校生たちが、地元企業と連携し、それぞれの地域が抱える課題について共に解決策を模索する。(探究学習プログラム／R7.5月～R8.2月)
- ・課題テーマ 持続可能な九州・●●県(開催県)のために、自分達は何ができるか？
- ・参加高校生 360名(福岡3校、長崎3校、熊本3校、大分3校、宮崎2校)
- ・協力企業数 福岡9社、長崎4社、熊本7社、大分5社、宮崎4社

<R7年度スケジュール>

①課題・テーマのインプット(5月～7月)
題材、テーマの説明、決定

②学内探究(5月～7月)
自主探究学習

③フィールドスタディ(7月～10月)
地元企業との意見交換

→「企業の視点からの解決案」を聞き、
「地域の課題解決の視点」を養う。

④事後学習(9月～10月)

他校研究内容の相互確認

→「他の地域に住む高校生の視点」を養う。

⑤マイナビ ツール・ド・九州見学(10月10日～13日)→「実際の大会を視察・体験」する。

⑥磨き上げ(10月～11月)

マイナビ、九経連、フィールドスタディ協力企業から助言

⑦成果報告会(12月) プレゼン動画視聴

マイナビ ツール・ド・九州開催各県担当者、マイナビ、九経連による講評

⑧最終報告(1月～)

代表校が知事へ発表(各県2グループ)



(実施高校/宮崎県)

学校	人数
宮崎南高校	33名
延岡星雲高校	19名
計	52名

(フィールドスタディ協力企業／宮崎県)

旭化成株式会社

三桜電気工業株式会社

株式会社アシストユウ

株式会社宮崎銀行